



和東町



第4回定例会

決まったこと 28年度補正予算・条例改正他 >>> P.2

主な質疑 補正予算等 >>> P.4

一般質問 4人が町政を問う >>> P.6

管外視察報告 岐阜県七宗町、長野県喬木村 >>> P.11

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.12

まちの元気 和東町雇用促進協議会 >>> P.14

小学校3年生茶香服体験（1月20日）

茶香服大会競技者個人記録メモ

《採点表》

1	投票	1
2	投票	2
3	投票	3
4	投票	4

《試料茶の特徴》

項目	風味	色味
1.煎じ		
2.煎じ		
3.煎じ		
4.煎じ		



氏名	性別	年齢	学年	投票

3000万円超える 整備が急務に



奈良交通バス

**12月定例
議会では**
(12月14日開会
19日閉会)

町長提出の平成28年度補正予算（一般会計と国民健康保険、簡易水道事業、下水道事業の3特別会計）、町営住宅の設置・管理に関する条例他3本の条例改正、地方税機構規約の改正、工事請負契約の変更、土地改良事業の施行の他、議員発議の2本の意見書を審議しました。採決の結果、全議案を可決・承認しました。

国の補助をうけ運行している奈良交通バスへの町負担額が567万円追加補正され、約3200万円となりました。町は今後の方向性について、①京都市と東部3町村の連携で「地域公共交通網形成計画」を策定する②計画を踏まえ湯船地区の別路線化、コミュニティバス運行等の

路線再編を検討するとしていきます。審議の中で「タクシードライバーの再編経費のボーダーラインとなる考えを示しました。これに対し「あくまで健全経営、黒字

扱いとなるので実際の町負担は3割であり、その範囲が今後の再編経費のボーダーラインとなる考えを示しました。これに対し「あくまで健全経営、黒字

湯船地区の法人設立へ支援

「湯船地区活性化対策補助金」として200万円が計上され、町は湯船のまちづくりの実行主体となる法人設立への支援としています。具体的には、マウンテンバイク会場として誘致が決定したワールドマスタースターズ通し、森林公園の管理も含め地域の活性化を進める主体となるもので、新年度早々には立ち上げる方向です。

経営をめざし努力すべき」との意見が出され、町長は「ボーダーラインは見つつかも固執せず、積極的なまちづくりを進める中で路線バスのあり方を考え、まちづくりの手段になると考えた」と答弁しました。いずれにしてもJRバスの撤退以来の懸案である「便利なまちづくり」の実現、それを担う公共交通網の整備の課題は、いいよいよ、まったなしであり、具体的な方向性の確立と早期の実行が急務となっています。

「湯船地区活性化対策補助金」として200万円が計上され、町は湯船のまちづくりの実行主体となる法人設立への支援としています。具体的には、マウンテンバイク会場として誘致が決定したワールドマスタースターズ通し、森林公園の管理も含め地域の活性化を進める主体となるもので、新年度早々には立ち上げる方向です。

審議では設立の方向性や拠点整備への意見が出され「住民の出資も含め地元で決めていきたい。拠点整備も進めたい」との答弁がありました。ワールドマスタースターズ(W・M)の具体像は誘致が決定したW・Mですが現状では開催は出来ません。町は「コース整備は最低限必要」としていますが、推進体制も含め、何が必



路線バス補助金が初めて

平成28年度
補正予算

新たな交通網

マイナンバー通知、なお47通未渡し

一昨年から通知が開始された「マイナンバー」が今なお47通が未渡しになっているとの答弁があり、当面は役場で保管。カードの交付数は174枚との事でした。交付前設定時の視覚障害者への対応を万全にとの意見も出されました。

そのための計画作りが検討されていると町は説明。質疑では文化施設としての役割や機能も果たすセンターでもあり、今後の方向性の検討には広く声を聴くべきとの指摘も。町は、まだ決定ではないとしつつ、体験交流をキーワードに検討を進めたいとしました。

有無や安全対策等への指摘がありました。町は、通行止めは一定期間発生するとし、対応を行うと答弁しました。

体験交流センターをビジネス拠点に?

府と和東・笠置・南山城の3町村の連携で、センター2階を改修し、そこを拠点としてテレワーク事業、IT関連事業等を展開できないか

砂子橋の改修・通行止め等規制も

湯船・清水橋の先に位置する砂子橋の改修を年明けから開始する事になり、通行止めの



砂子橋

- 【主な支出】**
- 電算システムサポート委託 387万3千円
 - 湯船地区活性化対策補助金 200万円
 - 体験交流センター計画策定 15万2千円
 - 路線バス運行維持補助金 567万円
 - 京都地方税機構負担金 86万4千円
 - 標準宅地鑑定評価業務委託 169万2千円
 - 臨時福祉給付金 1350万円
 - 水利確保給水車庫新設 56万1千円
 - 観光案内所関係（研修、竣工式、記念品） 50万8千円
 - 町道維持修繕工事 113万円

条例・規約の改正

- 町営住宅設置及び管理条例
 - ・第3中西団地建替え工事の完了に伴う改定。
 - ・審議では、空き室を放置せず適切な募集を行う事や選考委員の人選への要望が出され、今後、空き室への募集を行うと答弁がありました
- 特別職（常勤一町長、副町長）の給与、旅費に関する条例
 - ・12月期末手当の0.1カ月分引上げなど。
- 町職員の給与に関する条例
 - ・12月期末手当の0.1カ月分引上げ、初任給等の給与引上げ、扶養手当の改定など。
- 地方税機構規約
 - ・軽自動車など自動車税関係の課税業務の共同化。

役場庁舎改修工事

玄関の屋根改修、スロープ化、2階渡り廊下バリアフリー化、身障者用駐車場等を追加

屋根改修（雨漏対策）に338万8千円、玄関前のスロープ化と手すり設置に70万6千円、渡り廊下バリアフリー化に12万8千円、身障者用駐車場整備に21万5千円等、合計1319万1120円を追加し、工事費用は2億6308万1520円となります。



主な質疑

28年度補正予算

平成28年度補正予算の内容について、観光振興や地域活性化、路線バス運行の現状や今後の対策、子育て支援、マイナンバー制度の現状など、各議員から様々な角度から質疑が行われました。主な内容を紹介します。

問 湯船地区活性化対策補助金 200万円の内容は。

答 森林公園、マウンテンバイク等の効果的な活用、集落景観の保存事業につながるため、自立経営可能な組織、法人の形態をつくる事への支援です。

問 今後の事業展開は。

答 来年度の早い段階で法人を立ち上げたい。

問 法人のあり方や拠点になる建物等は。

答 住民で決めていただき立ち上げたい。拠点整備は検討したい。

問 ワールドマスターズに向けた計画や方針は。

答 コースの整備がまず必要。他にも含め総額は未定。

問 標準宅地鑑定評価業務委託料とは。

答 固定資産税の評価替えに伴うものです。

問 観光案内研修委託料、竣工式典の委託料は。



建設がすすむ観光案内所

答 案内所スタッフの事前研修と竣工式の経費です。

問 税機構での徴収額はどれくらいか。

答 6年間で約3億円ほどです。

問 町で督促は行いつのか。督促や訪問等は避けています。

問 路線バスの運行維持費567万円を計上しているが去年と比べ補助金額が増えていると思うが。昨年年度と比べ約22%増えています。

問 今後のバス経営の方向性は。

答 路線の再編を検討し、湯船方面の別路線化やコミュニティバスを検討していく。

問 湯船方面はタクシー的な運営を考えるのか。

答 デマンドタクシーなど利便性の高いものを検討したい。

問 コミュニティバス運行の方向性は。

答 住民の声を聞きながら検討したい。

問 マイナンバーの通知は完了したのか。カードの発行数は。

答 47通を役場で保管しており廃棄せず保管する。

問 174枚を交付済みです。視覚障がい者の申請への対応は。

答 申請はないが点字で対応する。

問 アルバイト賃金の引上げを。

答 一定検討し29年度から改善したい。

問 児童クラブの保育料、保育時間の改善は。

答 保育料の改定は考えていない。保育時間も現状で問題ない。

問 問題は発生しており改善すべき。



中央浄化センターに給水車配置予定

問 現行の保育時間でいきたい。配置される給水車の車庫の場所は。

答 中央浄化センターが適切と考えています。

問 消防用への転用は。

答 あくまで飲料水用と考えています。

問 東部塵芥関係の町道修繕費用の内容は。

答 長井から撰原方面、高橋バス停から上がる道路、施設周辺道路の改修です。

意見書

第4回定例会（12月）に次のとおり意見書が提出されました。

カジノ解禁に反対する意見書

提案者 岡本正意 議員

否決

賛成者 1人
反対者 8人

後期高齢者医療保険料見直しの中止を
求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

賛成者 1人
反対者 8人

人事関係

和東町選挙管理委員会及び補充員の選挙

任期満了に伴い4名の選挙管理委員会委員に、
また4名の選挙管理委員会補充員に議長より指名
推薦され議会の承認を求めたもの。

選挙管理委員会委員

- 前田 龍哉氏（大字湯船）
- 木崎 善史氏（大字中）
- 村上 功氏（大字別所）
- 西島 剛氏（大字白栖）

選挙管理委員会補充員

- 小西 弘芳氏（大字湯船）
- 中井 雅文氏（大字原山）
- 西辻 信夫氏（大字別所）
- 籠嶋 利幸氏（大字石寺）

各議員の賛否

平成28年第4回定例会（12月）に、町長から提出された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名	竹内きみ代	藤井清隆	村山一彦	吉田哲也	井上武津男	岡田泰正	岡本正意	小西啓	岡田勇	畑武志
可決	本	京都地方税機構規約の変更について		○	○	○	○	○	○	×	○	×	-

平成28年第3回臨時会定例会（10月19日）に、町長から提出された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名	竹内きみ代	藤井清隆	村山一彦	吉田哲也	井上武津男	岡田泰正	岡本正意	小西啓	岡田勇	畑武志
否決	本	西部・木屋地区等遠隔監視システム構築電気計装設備工事請負契約の締結について		○	○	○	×	×	×	×	×	×	-

平成28年第4回臨時会定例会（11月4日）に、町長から提出された議案のうち賛否がわかれたもの。

可決	本	西部・木屋地区等遠隔監視システム構築電気計装設備工事請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
----	---	---------------------------------------	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※会議区分 本は本会議 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない。

畑武志議長は本議会の採決に加わらない。

【第3回臨時会—10月19日】

臨時議会

○湯船財産区管理会協議会の一部を改正する条例（選任方法と委員定数の変更）、湯船森林公園園水利確保用給水車購入契約の締結（1,058万7,240円）を可決。西部・木屋地区等遠隔監視システム構築電気計装設備工事請負契約の締結は議案資料の内容や入札への疑問が指摘され否決。

【第4回臨時会—11月4日】

○再提出された西部・木屋地区等遠隔監視システム構築電気計装設備工事請負契約の締結（14,256万円）を可決。

町政を問う！提案する！ 一般質問

12月14日に行った一般質問には、4人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。質問順に、各議員の質問項目を紹介します

●竹内きみ代議員

1. 移住対策の取組み状況は
2. 介護保険利用者の負担軽減を

●藤井清隆議員

1. ゴミ処理方法の改善を
2. 橋梁、道路整備の計画は

●岡本正意議員

1. 「要支援」者の「総合事業」の内容は
2. 子育て支援の充実を
3. 北陸新幹線誘致の動きへの対応は

●岡田 勇議員

1. マウンテンバイクについて
2. 住民との協調の取組みは
3. 町政懇談会について
4. 少子化への対策は
5. 4月の町長選挙について

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。



問

本町における
移住対策の取組みは

答

東部未来づくりセンターを
中心に進める

問

空き家調査から2年が経過、その後の調査で約20戸が利用可能となっている。空き家バンク設置に向けての進捗状況は。

答

農村振興課長
今年度の状況では、空き家としての認識がありが30戸、貸したくないなど14戸であり、現在16戸が空き家バンクの対象となる。

問

調査結果では22戸の利用不能となっているが、昨年の法改正によって対処する考えは。

答

農村振興課長
解体済みが5戸あり、危険な空き家については持ち

主に声をかけているところです。

問

「移住呼びかけ人」やこれまでの移住定住に対する取組みは。

答

地域力推進課長
呼びかけ人とは、相楽東部地域への移住を促進する目的で山城振興局が認定している制度です。現在、I Uターンで20歳から40歳代の移住者6名が8月に移住呼びかけ人に認定されており、南山城村4名、笠置町2名で計12名となっています。今後は、定期的に集まり情報発信としてホームページの作成や移住を検討している方に対してツアー



竹内 きみ代 議員

の企画を検討しているところです。



よびかけ人の皆さま

問

府の「移住促進特別区域」指定で、地域の取組みをサポートする制度が設置

されたが、残念ながら京都府南部地域の指定はなかった。この支援制度を活用して取組む考えは。

答

町長

府の移住促進のための空き家及び耕作放棄地等活用条例に定める移住促進特別区域指定については、2けた程度の登録空き家や農地が見込まれるなどの要件と一定の区域単位で申請する必要がある。

問

現在、移住担当は地域力推進課、空き家担当は農村振興課となっているが今後においては、一体的に取組む考えはないのか。

答

町長

今年7月に府と東部3町村で「東部未来づくり推進協議会」を設立した。共通する仕事、空き家や観光など府の職員にもお願いして東部3町村での案内窓口を集中させた取組みを検討している。

介護保険利用者の負担軽減について

問

介護保険の福祉用具購入費と住宅改修費用は償還払いを原則としているが、利用者は一時的にまとまった資金が必要となり、経済的な問題から利用できない場合がある。そこで、利用者の負担を軽減する受領委任払い制度の早期実現に向けての考えは。

答

福祉課長

本町では、福祉用具購入については年間10万円を限度に、住宅改修については20万円を限度として、後日9割または、8割を償還払いで対応している。しかし、利用者の多くが高齢基礎年金収入の方々であり、一次的な費用負担を軽減するためには必要な制度と考える。特に住宅改修については20万円の限度額を超える改修が必要なが多く、審査完了まで日数も要することから、事業者等に受領委任払い制度の説明するとともに次年度から実施していきたい。

問

ゴミ減量化の決定打は

答

生ゴミ堆肥化は各区で
協同して取り組むべき課題

問

生ゴミ減量化の為の自家
処理推進の為、毎年一定数
の生ゴミコンポストを各区
に無償で割り当て協力者を
募るのはいかがでしょうか。

答

農振課長
全家庭が対象にならない
無償化は不公平感がでるの
で難しい。

問

各区か或は町内のどこか
で共同堆肥化施設は作れな
いか。

答

町長
現在、モデル事業として
電気処理による堆肥化を行
なっているが、見通しが立
てば、各区などで施設を作
る方向に持っていきたい思
い。

いはある。今後知恵をしぼ
りたい。

問

和東川に架かる橋は災害
に対して大丈夫なのか。

答

町長
橋梁の長寿命化計画の中
で各橋梁を判定し種々の状
況を考慮の上、橋梁修繕計
画を策定し、順次事業を行
なう。

問

石寺橋の改修について問
う。

答

建設事業課長
近くに景観遺産があり観
光でも注目される場所なの
で、考慮の上、計画を策定
したい。



藤井 清隆 議員



石寺橋

問

白栖口バス停から和東山
の家バス停への府道木津信
楽線の道路が狭いので拡幅
し、また歩道をつけるよう
尽力できないか。

答

町長
府道は近年では自転車の

通行も多く危険な要素も増
しており、京都府に強く要
望しているところで、今後
も要求し続けたい。

問

町道撰原下島線の整備計
画について。

答

町長
グリーンロード21で既に
南部幹線計画に入っている
路線で路線設定について
は、住民の要望を満たし、
協力も得られる選択をお願
いしたい。



町道撰原下島線

問

北部幹線・南部幹線は未
だ一部しか開通していない
が、今後の計画について。

答

建設事業課長
ここ数年は町道山口線、
町道童仙房線を中心に工事
中であり、重要なライフラ
イン整備の位置づけのもと
継続的な事業進捗を図る予
定。

問

道路整備については毎年
百メートルでも予算化して
国の補助金をもらって道路
構造令にのっとった立派な
道を作るべきと考えるがい
かがか。

答

町長
事業として完結性の点で
集中的にやらないといけな
い事と地権者の協力が欠か
せない事を理解していただ
きたい。住民の協力のもと
社会資本整備充実につとめ
たい。

問

「総合事業」で要支援者への介護サービスは維持できるのか

答

現行サービスの水準を維持していく

問

予定している事業内容は。

答 福祉課長

一般介護予防事業としてシニアライフサポートや「こころばん塾」等を実施。訪問介護は身体介護と生活支援の2通りを実施し、デイサービスは「わらく」での実施を協議中。

問

サービス提供事業者と報酬はどのようになるのか。

答 福祉課長

「わらく」と社協を中心に予定し、報酬額は近隣市町村より高い設定で協議中。経営がしんどくなる事態は避けたい。

問

サービス水準は維持できるのか。

答 福祉課長

事業上限額の範囲内で維持できるように努力したい。

問

保険サービスと同水準のサービスを保証できるのか。

答 福祉課長

維持できると考えている。

問

利用料は現行と比較してどのようになるのか。

答 福祉課長

委託単価の1割程度で考えている。

問

これまでと同じ水準なのか。

答 福祉課長

同額または以下になると考える。

問

チェックリストで介護認定から排除する事はないか。

答 福祉課長

適切なサービスにつながる対応をしたい。

問

一歩踏み込んだ子育て支援の充実を

給食費、修学旅行費、教材費など教育費負担の無償化を。

答 町長

財政事情を勘案して検討すべきで、もう少し教育委員会と協議をすすめたい。

問

できる部分からでも実施すべき。

答 町長

方向は大事であり今後議論していく。

問

高校生（18歳）まで医療費無料化を

答 町長

現行制度を継続し、今後の方向も努力する必要があるが実施の段階ではない。

問

全国では大学生まで無料化している町もある。早急に具体化を。

答 町長

今後、十分詰めていきたい。

「北陸新幹線」誘致への町の考えは

問

町にとってメリット、デメリットは

答 町長

地域の発展につながる面があるが、日常生活の足の減少など非常にデメリットもある。

問

先行開通地域での財政負担、公共交通の衰退をどう考えているか

答 町長

奈良線の複線電化や大和路線への影響がないようにと考えている。財政負担は直接は影響はないと思うが今後確認したい。

問

最優先のバス路線等の利便性向上と新幹線への巨額投資は矛盾するのでは

答 町長

むしろ住環境整備につながりバス路線を前進させるメリットになるのでは。

問

4月の町長選挙は
どういうお考えか

答

適切な時期に
判断させていただく



岡田 勇 議員

問 「関西ワールドマスターズゲーム2021」の開催が決定され、この競技を和東町に誘致することについての理由は何なのか、和東町のメリットは何なのか。

答 町長

ワールドマスターズは、アジアに、そして日本に、関西を中心に進めようというところで、その中で京都府でやる種目が決まってまいります。開会行事は京都市だと聞いております。南部で開催するのは和東町と京田辺市の2カ所だと、今、聞いております。

この誘致の大きなポイントには、2つの側面があります。

1つは、スポーツ大会を通じてスポーツ振興しながら、その成果を将来に、観光とか、また湯船地域振興につながっていく。あえて和東町の活性化につながれば、スポーツ振興でまちづくりしていこうと、こういう観点が1つはあります。

もう1つの観点は、湯船の森林公園が予定地になっているのでその会場の道路とかまちづくりとして基礎整備も必要になり、これを機会に進めていきたい。

問

住民との協働・協力を図っており、地域住民の交流を尊重し、町外と住民の声を聞きながらやっていく

のが今の時代に必要といわれていたが。

答 町長

今のまちづくりで大事なものは、交流が大事だと思っております。町内に住んでいる方も大事であり、町外から和東町を見ている方も大事であろうと。交流促進がまちづくりの大きな基盤になっている総合計画に交流人口をうたっていることもあり、これからも配慮をしなければならぬと思っています。

問

今、行っている町政懇談会とは。

答 町長

原点はやっぱり住民の声

を大事にしてまちづくりを進めていく。基本構想の後期計画がスタートいたしました。基本計画は住民との協働をうたっており、住民の声を聞かせていただくこととあわせて、まちづくりの方向性を説明させていただく。

問

少子化対策についてお考えは。

答 町長

いわゆる子育ての環境、仕事の環境など、総合的にとらえていかなければならない面と町独自の事情などを、分析してやっていきたい。



和東町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略



和東町第4次総合計画【後期基本計画】

問

4月には町長選挙どのようにお考えか。

答 町長

行政は継続ですので、継続性が重視されております。だから、今はそれに邁進しているところです。適切な時期に判断をさせていただきます。

議員
研修

テーマ

七宗町 居住定住促進・喬木村 子育て支援・ICT教育

昨年11月17日～18日にかけて岐阜県七宗町、長野県喬木村を訪れ、移住定住促進や福祉医療、出産祝金事業、子育て支援（ICT教育）の取り組み等について研修を行った。

七宗町の総面積は約90km²でその9割が山林であり、人口は約4千人で和東町と似かよった町である。交通面は名古屋・大阪方面より車で約1時間、又JR高山本



地域おこし協力隊の活躍する七宗町



七宗町の「おためし住宅」

線の駅舎があり便利である。以上の様な地の利を生かしてすべての町村が美濃加茂市と協定書を締結し、共同の共生ビジョンを策定した事により、都市圏との繋がりと新しい公共を目指し、「定住自立圏の形成に関する協定」を結び協定市町村とグローバルな地域活性化に向けて、積極的な事業展開を行っている。

泊が出来る「おためし住宅」が設置されている。定住者にはきめ細やかな奨励金制度も用意している。子育て支援にも育児給付金等で応援しているとの説明を受けました。

喬木村では福祉医療、出産祝金事業、ICT教育の説明を受けました。

小学生から高校生までを対象に医療費の負担を、障害者に対しては単費補助を行っている。「次代を担う児童確保を図り村勢の発展に寄与する為」とし、第1子から第5子まで段階的に出産祝金を支給している。

ICT教育活用では、小学校校区の地形が分断している事によりICT教育の導入を判断した。人口減少社会に於けるICT活用による教育の質の維持向上にそして電子黒板、タブレット、パソコン等を整備し教育の情報化を図る。実際の遠隔合同授業を通じて個やグループ活動で自分の考えを深め表現し、新たな価値に気づいていくなどまた、アクティブラーニン



子育て支援に取り組む喬木村

グにより小規模校に多様な考え方が出来、多くの友達に考え方を適格に伝えられるようになった等の発表がありました。

いずれの町村も、地域おこし協力隊の力を借り知恵を絞り少子化問題、定住人口問題にあらゆるコンテンツを活用して、町村の発展に取り組む姿勢を研修させて頂きました。大いに参考にさせて頂きたいと思えます。

総務厚生常任委員会

「お茶の京都のターゲット
イヤー」を府と連携

委員長 井上武津男

本委員会は12月2日に、28年度事業の進捗状況を中心に事務調査を行いました。町長からは、地方創生に着手と取り組んでおり、5年後にはワールドマスターズが日本で開催され、和東ではマウンテンバイクの開催が決定。また29年度は、「お茶の京都のターゲットイヤヤー」で、府と連携をとり進めたいとの報告があった。

一般会計の予算執行状況は歳入37億65万の予算現額に対し21億5799万円収入で、収納率が58%、歳出累計額は14億5611万円で、執行率は39%であった。

総務課では、庁舎改修は工程どおり進んでいる。11月5日・6日に開催した「茶源郷まつり」の来場者数は9800人であった。茶源郷行政情報配信システ

ムの光ボックスの設置は420世帯で議会中継再開を視野に、光ボックスの設置普及に努めたい。

地域力推進課では、住民の景観に対する意識醸成を図る勉強会を原山・湯船地区で行なわれた。

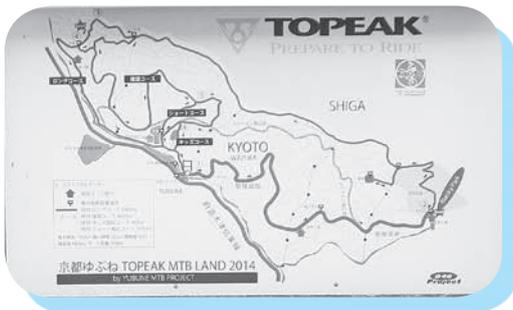
観光案内所新築工事は計画どおり進捗している。税住民課では滞納対策などの報告があった。

福祉課では、臨時福祉給付金給付事業では、申請されていない家庭があるため、12月26日まで延期された。

各委員からは、豊かな森を育てる府民税の課税方法、和東への配分は、トンネル化早期実現に向けた経済効果の調査業務の進捗及び完了は、奈良交通の観光客の利用数は、地域おこし協力隊の配置は、国保税の収納率は、等多くの意見、

質疑が出され、担当課よりの答弁を求めた。

午後からの現地調査では、マウンテンバイクコースの視察を行い、今後のコース整備・課題について担当者から説明を受け、現地調査を終えた。



マウンテンバイクコース



マウンテンバイクコースの視察

一部事務組合・広域連合議会報告

相楽郡広域事務組合議会

し尿処理・休日応急診療受診等の減少

11月21日に、第2回定例会が開催され、28年度一般会計では3億6500万円、特別会計では2460万円の予算で各種の事業を進めている。主なものとして、し尿処理業務では全体で5.9%減少。消費生活センターでは、相談員により、消費者被害の未然防止、自立する消費者育成に努めている。

休日応急診療所の運営では、受診者数の減少。相楽会館の貸し室は大ホールのみで、今後のあり方について検討している。

ふるさと市町村圏事業では、ホームページで情報発信している。次に、27年度決算認定は、1号は全員、2号は多数で認定された。

条例の一部改正、補正予算についても全員賛成で可決された。

相楽中部消防組合議会

熊本地震に職員を派遣

11月21日、第2回定例会が開催され、管理者より、救急救命士の養成状況について、職員2名を京都市救急教育訓練センターに派遣。また、9月には職員採用試験を実施した。さらに4月に発生した熊本地震において、職員14名を6日間現地に派遣した。その他消防施設整備の整備について報告があった。

承認第一号(27年度一般会計予算増額補正専決処分)は賛成全員で承認。

認定第一号(27年度一般会計決算認定)は賛成全員で認定。議案5号・7号・8号は条例の一部改正によるもので全員賛成で可決された。

産業常任委員会

簡易水道統合へ

委員長 吉田哲也

去年12月5日に行われた産業常任委員会では、まず、奥田副町長から本年度の予算執行状況、農村振興課及び建設事業課の各課長から所管事務の進捗状況の説明があった。その後、各委員との質疑応答があり、

農村振興課では、和東運動公園美化事業について、産地パワーアップ農産物処理加工施設碾茶加工工場の状況、和東雇用促進協議会実践事業の取り組み状況、茶源郷まごころサポート事業買い物弱者支援の現状、野生鳥獣被害総合対策事業の現状が出された。又、建設事業課では、道路拡幅改良工事の進捗、その他工事の今後の計画についての質問が出された。

これに対し、各担当課長から、和東運動公園美化事業は、公園内の草刈り、テナスコートの管理等を和東活性化センターに委託をしている。碾茶加工工場については10月25日に京都府から計画承認があり、事業主体である株式会社部が碾茶加工工場の入札を行った。和東雇用促進協議会実践事業については自伐木材を利用した木ブロックを開発し、今後、試行的に使用を検討している。又、ハーブを使った商品開発や各種のセミナーの開催も行っている。買い物弱者支援は商工会にお願いし、幅広く対応を検討している。野生鳥獣被害総合対策事業については、石寺地区に檻を一カ所設置し餌づけを

行い、今後の野猿出現状況を把握し、個体調査を行う。

簡易水道統合事業では、木屋送水管・西部連絡送水管工事と町道山口線拡幅改良工事については11月28日に発注、舗装維持管理工事では、町道湯船朝宮線・東谷崩ノ前線と2河川浚渫工事、町道維持管理関係も1月中旬ごろ順次発注して行いたいとの説明があった。

午後からは、和東浄水場遠隔監視システムの現地視察を行い、担当者から説明を受け、この日の事務調査を終えました。



和東浄水場遠隔監視システム

一部事務組合・広域連合議会報告

山城病院組合議会

昨年11月14日、平成28年度第2回組合議会を開催しました。最初に議長選挙を行い、笠置町の西岡良裕議員を選出。続いて昨年6月より月2回実施している和東町国保診療所への診察支援について報告がありました。また公平委員に安井恒夫氏を選任しました。

平成27年度病院事業会計及び介護老人保健施設事業会計の決算認定は共に黒字決算となり、全員賛成で認定しました。また病院職員の給与に関する条例の一部改正、平成28年度病院事業会計及び介護老人保健施設事業会計の補正予算、専決処分の承認も全員賛成で可決しました。

相楽東部広域連合議会

昨年12月8日、南山城村議場で平成28年度第3回定例会を開催しました。閉会中の委員会調査報告の後、一般質問には各町村1名ずつ3人の議員が質問に立ちました。

平成27年度一般会計決算認定を賛成多数で可決し、平成28年度一般会計補正予算、物品購入の締結、監査委員及び公平委員の選任を全員賛成で可決しました。

まちの
“元気”を
訪ねて

和東のまち、ひと、お茶に魅せられて 新風吹き込む若いエネルギー

和東町に移住し、雇用促進協議会で実践支援員を務めるお二人（木育商品開発担当…中村広美さん、ハーブ商品開発担当…内田華里さん）にお話を伺いました。

Q 雇用促進協議会に応募したきっかけは。

A (中村) 「ワヅカナジカン」援農プロジェクトに参加して、和東が好きになり、ここで何かできないかと思いました。

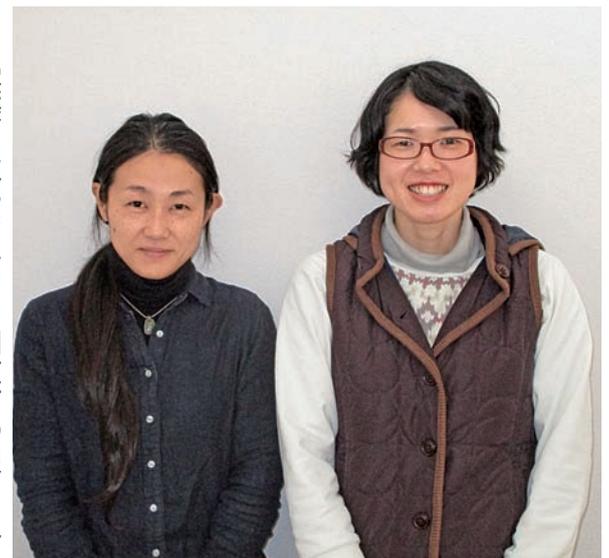
(内田) 援農プロジェクトでお茶の仕事に携わる中で和東の人、町に魅了され、和東で生活したいと思いました。

雇用促進協議会が、第2の農業としてハーブ栽培に取り組んでいることを知り、経験を活かし地域に貢献したいと思いました。

Q 実際に働いてみて、やりがいを感じていますか。

A (中村) 林作業を担当し、木のおもちゃや森林での教育プログラムを開発しています。思うようにいかず大変なことがかりですが、林業や木育の素晴らしさ、面白さも感じ、意義のある仕事と思っています。

(内田) 昨年11月に着任したばかりで、和東やハーブ、お茶について日々まわりの方に助けられながら勉強しています。栽培しているハーブにはお茶と同様に和東の風土の力強さがあり、和東をPRし、地域の方にも認めていただけるものづくりをしたいです。



内田さん

中村さん

Q 実際に住んでみて、和東町の良さは何ですか。

A (中村) 人が温かく、のんびりしていると。

(内田) お茶の町、和東！茶畑があり、お茶に携わる人、それを支える人たち、様々な形でお茶に携りながら町が躍動していると感じます。

Q 町内のみなさんにひと言。

A (中村) まだまだ知らないことばかりなので、地域や森、木に関する情報をぜひ教えてください。気軽に声をかけてください。

(内田) お茶以外にも素晴らしいハーブがあることを伝えられるよう、和東産ハーブのブランドづくりを目指し頑張ります。

(取材：畑 武志)

第1回定例会は、3月10日開催予定。傍聴にお越しく下さい。

編集後記

昭和55年12月、新庁舎（現議場）で初めての議会が開かれました。

翌年には町営テレビが登場し議会中継もスタート、当時の議会だよりには「新議場で緊張の初会議」とあり、以降議会はテレビと共に歩んできました。

6年前、アナログ放送と共に議会中継は終わりましたが、再開を望む声に「いよいよ今年、茶源郷行政情報配信システム（光ボックス）で中継が復活することになりました。

30数年前の記事には「この議場に恥じない議会活動を議員ともども専念したい」「緊張のなか活発な論議」等々決意と初々しさがあふれていました。先輩議員同様、もう一度初心に戻らねばと思う今日この頃です。

(畑 武志)

広報編集委員会

委員長	岡本 正意
副委員長	井上 武津男
委員	吉田 哲也
委員	畑 武志
委員	岡田 泰正